

- 総合目標2：デフレからの完全脱却と経済の新たなステージへの移行を実現するとの基本的考え方（税制）  
下、経済成長と財政健全化の両立を図るとともに、少子高齢化、グローバル化、デジタル化等の経済社会の構造変化に対応する観点から、税体系全般にわたる見直しを進める。

<b>総合目標の内容及び目標設定の考え方</b>	<p>税制は、社会の活力や経済発展の基盤として、財源調達機能（政府が提供する公共サービスの資金調達）や再分配機能（国民の所得や資産の再分配）を果たすことが期待されており、「公平・中立・簡素」という基本原則を踏まえつつ、経済社会の構造変化に対応した、不断の見直しに取り組んでいく必要があります。</p> <p>「経済財政運営と改革の基本方針2023」（以下、「骨太の方針2023」といいます。）においては、財政健全化の「旗」を下ろさず、これまでの財政健全化目標に取り組むこととしています。</p> <p>税制については、デフレからの完全脱却と経済の新たなステージへの移行を実現するとの基本的考え方の下、経済成長と財政健全化の両立を図るとともに、少子高齢化、グローバル化、デジタル化等の経済社会の構造変化に対応する観点から、税体系全般にわたる見直しを進めます。</p> <p>「骨太の方針2023」においては、「経済財政運営と改革の基本方針2022」等も踏まえ、応能負担を通じた再分配機能の向上・格差の固定化防止を図りつつ、公平かつ多様な働き方等に中立的で、デジタル社会にふさわしい税制を構築し、経済成長を阻害しない安定的な税収基盤を確保するため、税体系全般の見直しを進めることとしています。</p>
--------------------------	--

<b>上記の「総合目標」を構成するテーマ</b>	
	総2-1：我が国の経済社会の構造変化を踏まえた税制を構築する

<b>関連する内閣の基本方針</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「第 213 回国会 総理大臣施政方針演説」（令和 6 年 1 月 30 日）</li> <li>○ 「第 213 回国会 財務大臣財政演説」（令和 6 年 1 月 30 日）</li> <li>○ 「経済財政運営と改革の基本方針 2023」（令和 5 年 6 月 16 日閣議決定）</li> <li>○ 「経済財政運営と改革の基本方針 2022」（令和 4 年 6 月 7 日閣議決定）</li> <li>○ 「わが国税制の現状と課題—令和時代の構造変化と税制のあり方—」（令和 5 年 6 月 30 日税制調査会）</li> <li>○ 「諮問」（令和 6 年 1 月 25 日税制調査会）</li> <li>○ 「令和 6 年度税制改正の大綱」（令和 5 年 12 月 22 日閣議決定）</li> </ul>
--------------------	--

<b>テーマ</b>	総2-1：我が国の経済社会の構造変化を踏まえた税制を構築する
<b>取組内容</b>	上記「総合目標の内容及び目標設定の考え方」記載のとおり。
<b>定性的な測定指標</b>	
	[主要] 総2-1-B-1：経済社会の構造変化を踏まえた税制改正の検討
<b>(指標の内容)</b>	経済社会の構造変化を踏まえた税制を構築すべく、毎年度の税制改正を検討します。

<b>(指標の設定の根拠)</b>					
税制は、社会の活力や経済発展の基盤として、財源調達機能（政府が提供する公共サービスの資金調達）や再分配機能（国民の所得や資産の再分配）を果たすことが期待されており、「公平・中立・簡素」という基本原則を踏まえつつ、経済社会の構造変化に対応した、不断の見直しに取り組んでいく必要があるためです。					
<b>今回廃止した測定指標とその理由</b>					
該当なし					
<b>参考指標</b>	<input type="checkbox"/> 参考指標1「税率比率の推移」 <input type="checkbox"/> 参考指標2「一般会計税収の推移」 <input type="checkbox"/> 参考指標3「一般会計税収、歳出総額及び公債発行額の推移」【再掲（総1-1：参考指標1）】				
<b>総合目標に係る予算額</b>	<b>令和3年度</b>	<b>4年度</b>	<b>5年度</b>	<b>6年度当初</b>	<b>令和6年度行政事業レビュー番号</b>
上記の総合目標に関連する予算額はありません。					
<b>担当部局名</b>	主税局（総務課、調査課、税制第一課、税制第二課、税制第三課、参事官室）		<b>政策評価実施予定時期</b>	令和7年6月	